

非血縁者間 骨髄・末梢血幹細胞採取 認定施設
 採取責任医師・輸血責任医師 各位
 調整医師 各位

公益財団法人日本骨髄バンク
 ドナー安全委員会

(通知) 確認検査 血液型検査結果コメントの対応について

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 確認検査の ABO 式血液型検査結果における下記の該当コメントの対応について、ドナー安全委員会で審議しました。該当の事例においては、寒冷凝集陽性例が散見され、臨床的に問題となることから、以下の対応を行うこととしました。なお、本運用では寒冷凝集が陰性で最終同意に進んでも、可能性は僅かではありますが、術前健診で連銭形成が陽性であった場合に不適格になる可能性があります。
 先生方にはドナーへの説明をご依頼させていただくこともございますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 確認検査での該当コメント

- (1) ABO 式血液型検査は、下記の通り裏試験にて反応が認められますが、寒冷凝集・連銭形成・不規則抗体等の影響によるものと思われます。
- (2) ABO 式血液型検査は、下記の通り表・裏試験結果不一致のため判定保留とさせていただきます。

2. 対応

(1)(2)いずれかのコメントがあった場合、寒冷凝集・連銭形成・不規則抗体のうち、確認検査では寒冷凝集反応のみ残検体での検査が可能です。また、上記コメントの原因としても寒冷凝集陽性は頻度がもっとも高く、臨床的にはドナーとレシピエントの両者にとって問題になる可能性があります。そのため、ドナーに説明の上、寒冷凝集反応のみを確認してコーディネートを進捗し、術前健診で連銭形成を確認する運用といたします。詳細は運用フローチャートでご確認ください。

- ドナーへ説明した際、JMDP での運用以外に精査を希望された場合は、ドナーの自己負担で受診いただくようご案内ください。
- 採取施設に該当する場合は、事前に輸血部にもご相談ください。

3. ドナー適格性判定基準の追加

■ 血液・造血器疾患（新規）	BM・PB
連銭形成が認められる場合は不可	C

以上

運用フローチャート

